

## 令和7年度 関門海峡・温故知新塾 「未来へつなぐ 関門の宝物」

### <第1回>

- ・日 時 令和7年7月16日（水） 14:00～16:00
- ・テーマ 「近代建築タカラ箱・関門」～関門における近代建築の栄華を辿る～
- ・講 師 (株)古森弘一建築設計事務所 代表取締役 古森 弘一 氏
- ・場 所 旧大阪商船 2階ホール（門司区港町7-18）
- ・内 容 古代から近代までの建築の歴史や日本の木造建築物とともに北九州を代表する建築家等の解説。また「細部に神は宿る」と建築家の視点から両市の主な建築物が紹介され、受講者から実際に訪れてみたいとの感想が寄せられました。



### <第2回>

- ・日 時 令和7年8月20日（水） 14:00～16:00
- ・テーマ 下関市立大学経済学部 客員教授 砂原 雅夫 氏
- ・講 師 「地図が物語る下関と門司の150年」
- ・場 所 下関市民会館 2階中ホール
- ・内 容 下関港と門司港の築港の経緯や日本銀行西部支店の変遷とともに彦島と大里地区の工業地帯を成立させた鈴木商店が紹介された。2都市の形成過程の違いを港や交通関係を中心に説明がなされたこともあり、受講者から「下関北九州道路」に関する質問も寄せられました。



### <第3回>

- ・日 時 令和7年9月17日（水） 14:00～16:00
- ・テーマ 「坂の上の雲の時代」～関門から見る激動の歴史～
- ・講 師 北九州市の文化財を守る会 理事長 前園 廣幸 氏
- ・場 所 港ハウス 2階ホール（門司区東港町6-72）
- ・内 容 諸外国の脅威に備えるため、明治20年以降に陸軍省によって建設された関門地域の戦争遺跡（下関要塞18カ所：門司区、小倉北区を含む）について解説。身近な所に戦争遺跡が存在していることや実戦参加はなかったものの、建設費を現在価格で換算すると約108億円になるとの説明に驚きの声がありました。



### <第4回>

- ・日 時 令和7年10月15日（水）14:00～16:00
- ・テーマ 「関門海峡から世界へ ～歴史×エンターテイメント～」
- ・講 師 関門エンターテイメント 牟田 裕 氏  
(助手) ソプラノ歌手 荒田 砂代子 氏
- ・場 所 海峡ビューしものせき 1階ロビー
- ・内 容 下関と門司の歴史・文化にふれつつ、両市の主な名所旧跡等を紹介。講師自身の現在の音楽活動の土台となっている関門海峡と郷土への思いを語られました。また、講師が作詞作曲の「関門の歌声」やオペラ等の数曲が披露され、これまでにないセミナーとなりました。

